

(1) タイトル

喀血を主訴に受診し、多発肺結節を呈した結節性リンパ組織過形成の 1
例

著者名

福谷 衣里子^a

浅野 周一^a

加藤 さや佳^a

野田 和司^b

龍華 祥雄^a

大畑 賀央^c

^a 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院呼吸器内科

^b トヨタ記念病院 呼吸器内科

^c 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院呼吸器外科

(2) 要旨

症例は 56 歳女性. 分類不能膠原病として過去に治療歴がある. 突然の喀血を認めたため受診し, CT で両肺に多発する結節影を認めた. 気管支鏡検査で診断に至らず, 胸腔鏡下肺生検を行い結節性リンパ組織過形成 (nodular lymphoid hyperplasia: NLH) と診断した. NLH は良性疾患とされているが喀血や多発結節を呈することは稀であるため, 悪性疾患, 特に MALT リンパ腫との鑑別が問題となった. 貴重な症例と考え文献的考察を加えて報告する.

(3)

キーワード

結節性リンパ組織過形成 nodular lymphoid hyperplasia

MALT リンパ腫 MALT lymphoma

喀血 hemoptysis

多発肺結節 multiple lung nodules

短縮タイトル

喀血と多発肺結節を認めた結節性リンパ組織過形成の1例